

J 城南島タイムズ



12/20 令和元(2019)年 12月20日<第50号> 発行：城南島連合会 制作：新聞委員会

〒143-0024 東京都大田区中央2-11-10 大森工業会館3階 電話：03-6417-1132 www.jounanjima.com 印刷：光写真印刷株式会社

次のように挨拶を述べました。「本日は第34回総会にご出席いただきありがとうございます。今回の台風19号で発生した被害は予想をはるかに超えるものでした。気候変動の影響もあって台風は年々強くなっています。事業を無事に継続していくためには日々いろいろな対策を講じてはならないと思います。幸い今回は城南島に大きな被害はなかったと聞いておりますが、甚大な被害を受けた地域の皆さまには心からお見舞いを申し上げます。総会審議の前にご報告が1件ございます。来年度の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、城南島に警視庁の城南島仮設待機施設（プレハブの宿舎）が建設される予定があります。先日、湾岸警察の方が来られて説明を伺いま



澤会長が総会開会にあたり

第34回通常総会開催

令和最初の総会となる「第34回城南島連合会通常総会」が令和元(2019)年10月18日(金)16時から、大森東急REIホテル・オークルームで開催されました。中澤会長の開会挨拶に続き、平成30年度の事業報告など5議案が審議され、いずれも満場一致で承認されました。16時50分からはセミナー「働き方改革のケース・スタディ」があり、18時からは会場をメーブルームに移し、多数の来賓を迎えて懇親会が行われました。

通常総会には新任の金野敏秋事務局長から「出席者は21名、委任状22名、合計43名。正会員総数62名の過半数を上回っている」ので総会は有効に成立していると出席状況の報告があり、続いて中澤会長が総会開会にあたり「本日は第34回総会にご出席いただきありがとうございます。今回の台風19号で発生した被害は予想をはるかに超えるものでした。気候変動の影響もあって台風は年々強くなっています。事業を無事に継続していくためには日々いろいろな対策を講じてはならないと思います。幸い今回は城南島に大きな被害はなかったと聞いておりますが、甚大な被害を受けた地域の皆さまには心からお見舞いを申し上げます。総会審議の前にご報告が1件ございます。来年度の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、城南島に警視庁の城南島仮設待機施設（プレハブの宿舎）が建設される予定があります。先日、湾岸警察の方が来られて説明を伺いま

したが、全国から約1万人以上の応援隊員が来るそうで、650名宿泊の施設がダイワハウスさん、大塚商会さんの物流センター（たのめーる）に隣接する城南島7丁目1番に建てられます。車輛は100台配備されるそうです。パラリンピックが終わった時点で取り壊される予定ですが、いちばん気になるのは、城南島の交通事情がどうなるかということです。今のところまだ詳細はわかりませんが、いろいろな規制が出ることは間違いないので、かなりの影響があることが予想されます。今後具体的な連絡があれば、その都度迅速に皆さんにお知らせ致しますのでよろしく願います。」

続いて議長に中澤会長を選任して、平成30年度の事業報告・収支決算報告と令和元年度事業計画・収支予算の2議案、続いて役員変更、規約一部変更、当期剰余金処分の3議案が審議され、いずれも満場一致で承認されました。

なお、第3号議案の役員変更は以下の通りとなっております。

● 年に1度の持ち回りによる変更
退任 松川強(株)フューチャー・エコロジー
新任 市村貴光(株)リーテム

● 東京港湾湾運送事業協同組合での事業承継による変更
前役員 久原順一
新役員 村山勝志



●「出沒!アド街ック天国」に城南島が登場!

2019年7月13日(土)、テレビ東京の長寿人気番組「出沒!アド街ック天国」のタイトルは「大井 城南島」。番組では城南島を「ミステリアスな島だが、じつは無料と格安のアトラクションが集う夢の国」だと紹介しました。「?」と思われる方も多いと思いますが、その心は「城南島海浜公園」には都心でも貴重なオートキャンプ場があり、バーベキューも釣りも、浜辺の砂遊びも楽しめる、これはまさに遊びの「聖地」ではないか、ということでした。番組では遊びだけではなく、中央卸売市場が水産物、花卉、青果の3部門をもつ総合市場であり、花卉・青果では日本最大規模の流通量を誇ることや、島には150もの町工場があり、日本の最先端技術を支えていることなども紹介されました。大きな問題として、島には駅がないことも取り上げ、羽田空港アクセス新線の駅を島内に作ることを目指していることを、当連合会の杉崎武春顧問(前会長)へのインタビューを交えて紹介しました。残念ながら杉崎顧問の話はほんの数秒。報道番組ではないので仕方がないかもしれません。城南島なんて見たことも行ったこともない、という都民が多い中で、これだけの露出はありがたいと思うことにしましょう。なお、番組の詳細内容はテレビ東京のHPに掲載されています。<https://www.tv-tokyo.co.jp/adomachi/backnumber/20190713/>



短い時間でしたが、新駅を何とか作ってみたいと語る杉崎顧問(上)。その願いはテロップにも表記され、地図の画面にも「島には駅がない…」とはっきりと書かれていました。

●「働き方改革」のお悩みは無料で相談できます

2ページに記載した通り、総会後のセミナーでは「働き方改革」の諸問題に立ち向かう企業の事例を参考にしながら検討しましたが、東京新宿区の「東京働き方改革推進支援センター」は、いろいろな問題についてワンストップ、無料で相談を受けつけています。相談方法は企業訪問相談、電話相談、来所相談、メール相談から選べます。難しい問題は悩まず、まずはセンターに電話、もしくはホームページにアクセスして相談してください。電話：0120-232-865(平日9:00~17:00)
https://www.adecco.co.jp/client/support_program/tokyo_kaikaku/
東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル
(受付は1階、個別相談ブースは6階)

●当連合会の会長、副会長が大田工業連合会の副会長、理事に就任

大田工業連合会は2019年6月7日の定時総会で、当連合会の中澤勇一郎会長と大久保茂忠副会長を理事に選任し、中澤会長は副会長に就任した。任期はそれぞれ2年間。

●城南島連合会新事務所のご案内

総会後懇親会での中澤会長挨拶にもある通り、当連合会の事務所は、本年3月末に城南島2丁目の城南島工業協同組合から、以下に移転いたしました。
〒143-0024 東京都大田区中央2丁目11番10号 大森工業会館3階
*場所の詳細は下の地図をご参照ください。
電話：03-6417-1132 FAX：03-6417-1142
また、事務担当者は次の2名が新たに就任いたしました。
事務局長：金野敏秋 main-office@jounanjima.com
事務局：大井公美子 office@jounanjima.com



編集後記

▼今年も師走となり、あっという間に過ぎ去ろうとしています。今年を振り返ると、何といっても、風水害が多発した年だと思います。特に台風15号、19号で被災された方々に対して、1日でも早く復興され、日常生活を取り戻されることを祈念します。地球温暖化の影響かと思いますが、年々、台風がスーパー台風化し、想定外の豪雨が頻発する昨今、自然の脅威を感じる1年でした。

▼米中の貿易摩擦や日韓の輸出管理に端を発したギクシャクとした防衛問題といった暗い話題が続いていますが、明るい話題としては、新天皇の即位がありました。来年になると、東京オリンピック・パラリンピックのカウントダウンが、より一層、早まると思います。城南島でもオリンピック関連で、警備の警察車両や海外の人たちを乗せた車両の通過の増大が予想されます。少なくとも城南島内で交通事故が起きないようにしたいものです。身近な会社の方から、島内で、プロのドライバーが運転するコンクリートミキサー車の強引な運転により、あわや衝突しそうになったという話を聞きました。自戒の意味も込めて、今一度、安全標語「安全は心と時間のゆとりから」を心に刻ん

で、ハンドルを握るようにしましょう。

▼今号校了直前の12月4日、アフガニスタンで長年人道支援に取り組んでこられた中村哲医師(ベシャワール会現地代表)がテロ集団の凶弾に倒れたという報道が飛び込んできました。アフガニスタンで彼が狙われるなんてあるはずがない、と耳を疑いました。第一報では命に別状はないということでしたが、間もなく入ってきた続報は、亡くなられたという最悪の事実でした。中村さんは医療だけではなく井戸を掘ったり用水路を建設する事業にも当たって来られました。砂漠の地で必要なのは水よりもまず水だと説きましたが、最初はなかなか理解を得られず、工事途中の現場を現地住民に破壊されることもしばしばでした。しかし、きれいな水が飲めるようになり、砂地に緑の野菜や草木が茂るのを見て、現地の人もついに彼を信じ、いつしか建設作業に参加するようになっていきました。このような中村さんの活動はテレビのドキュメンタリーでも詳細に紹介されてきました。残念です。掛け替えのない大切な人を失ってしまいました。テロリストへの怒りで血が逆流しそうです。謹んで中村医師のご冥福をお祈りします。(新聞委員会・小澤晴夫)

通・常・総・会・議・事・抄・録

▼第1号議案「平成30年度事業報告・収支決算報告承認の件」については、まず須長将明副会長から、「この1年間は米中貿易摩擦、消費税引き上げなどによる懸念材料はあったものの、来年の東京オリンピック・パラリンピックによる様々な投資の続く経済環境の中で、当連合会の会員の企業運営に役立つことを心がけて各事業の利用促進に努めてきました」と、この1年間の概況説明があり、続いて各委員会の活動が報告されました。

収支決算に関しては事務局の大井公美子から報告され、あわせて事務所の移転にともない事務委託手数料、賃借料が前年度と変化していることの説明がありました。収支決算については監査役員から適正であるとの報告があり、第1号議案と第5号議案「当期剰余金処分案」は共に原案通り満場一致で承認されました。

▼第2号議案は令和元年9月1日から令和2年8月31日までの「事業計画(案)」。高須俊行副会長が「景気動向は今後も引き続き厳しく注視していかなければなりません。年々激しさを増す気候変動による自然災害への備えも必要です。しかし、東京オリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍に元気づけられ、身近な場面での景気が

押し上げられることに期待します」と述べ、続いて各委員会別に活動計画が説明されました。予算案は事務局・大井から説明。なお議長から、「新年度は諸事情により赤字予算となっておりますが、理事会で経費の見直し、支出の削減などを図り予算案内に納まるように運営いたします」との発言があり、第2号議案は原案通り承認されました。

▼第3号議案の役員変更。1ページに記載。

▼第4号議案「規約変更(案)」は満場一致で承認された。詳細は以下の通り。

・第4条 連合会の事業を定めた第4条に、駐車場に関する項目を追加。(太字が変更部分)

城南島駐車場の委託運営・管理

・第5条 正会員、準会員、賛助会員の定義と議決権の有無を明確にするため以下のように改めます。

(一) 正会員は、城南島に恒久的な事業所を有する民間の法人又は団体であり、議決権を有する。

(二) 準会員は、本会の趣旨に賛同する城南島に事業所を有する民間の法人又は団体であり、議決権は有しない。

(三) 賛助会員は、本会の趣旨に賛同する地域の法人又は団体であり議決権は有しない。

・第11条 置くことができる役員に「顧問」を追加。

建設的な議論を進め、より良いビジネス環境づくりを目指す

本日は日ごろより臨海地区の発展のため、ご指導ご支援をいただいている松原大田区長をはじめ各議員の諸先生、舟久保大田工業連合会会長をはじめ、ご来賓の皆さま方におかれましては、公務ご多

城南島連合会会長 中澤勇一郎

忙のところ城南島連合会の懇親会にご臨席を賜り心より御礼を申し上げます。また、会員の皆さまには大変お忙しいところ、また、足下の悪い中、総会から引き続き、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

で、80%以上が溺死でした。高齢者はどうしても自力避難が難しく避難が遅れがちになるためと思われます。また、自宅で亡くなった方は40%ですが、車で避難をして濁流に流されたり、水圧でドアが開かなくなつて亡くなられた方も多かつたようです。命を落とさないうためには、出来るだけ早く避難すること、車は状況判断をして無理に使わないことが大切ですね。また、今後は日頃からハザードマップを把握して災害対策を徹底しなければ、事業を継続できないような状況に陥ることになりかねないと痛感させられました。

JRはじめ交通機関の計画運休は必要なことですが、帰宅困難者が多数出て混乱するのは困ったものだと思います。私は仕事で台湾に行くことが多いのですが、台湾では台風が接近すると、公共機関も一般企業もすべて「台風休み」にすることを自治体が発令して一斉に休みます。休んだ分は振り替え出勤で補うのです。日本では少々の悪天候でも何とかして出勤したいという人が多いようです。



すが、勤勉すぎる(笑) 私たちも、今後は少し考え直さなければいけない時代になってきたのかなと思います。

本日、第34回城南島連合会総会では各議案とも、滞りなく満場一致の承認を得て終了いたしました。昨年の総会で杉崎前会長からバトンを引き継ぎ会長に就任してからのこの一年は、まさにあつという間の慌ただしい一年でした。一月の新年賀詞交歓会では、今年も元号が変わること、消費税が10%になることをはじめ、いろいろな面で変化の多い年になるとお話ししましたが、当連合会にも大きな変化がございました。まず、就任早々の昨年12月、東京都から委託を受けている駐車場の管理会社から値上げをしたいとの話がありました。この12年間値上げの話はなかったのですが、城南島の土地価格が近年上がっていること、消費税も上がるなどから現在の料金では維持が難しくなっているというのが理由でした。交渉を重ねまして、本年4月1日から新料金に改定いたしました。

を崩され、まことに残念ながら連合会の業務を継続出来なくなりました。それに伴い、松本さんが所属しておられた城南島工業協同組合の建物にありました当連合会の事務所も3月末に移転することになりました。新事務所は大田工業連合会様はじめ各方面の皆様のご協力をいただき、城南島を出まして本年3月末、大田区中央二丁目、「大田文化の森」のすぐ近くの「大森工業会館」の三階に移転を完了いたしました。同時に事務局長に金野敏秋さん、経理などのサポートに大井公美子さんが就任いたしましたので、よろしくお願いいたします。

なお、総会第二部の講演会は財務省関東財務局、東京財務事務所のご協力をいただき「東京活性化ミニサロン with 城南島」といたしまして、特定社会保険労務士の三浦睦子先生に働き方改革についてわかりやすく解説していただきました。ありがとうございます。

ここで少し城南島の状況についてお話しします。まず交通事情ですが、島内の路上駐車違反車が増えている問題ですが、これは待機車輦が多いことが主な原因ですので、大型車輦が出入りしている会社に、交通委員会の須長委員長が善処をお願いし、少しずつ改善されてきております。また、環七から右折して城南島に入る道は渋滞がひどかったのですが、今年6月3日に国道357号線の千葉方面へ抜ける道が開通したこともあり、信号1回か2回待ちでかなりスムーズに右折できるようになっております。この改善に注力されていた杉崎前会長も「このぐらいいいのではないか」と言っておりました。また、羽田アクセス新線の駅についてですが、希望しております大田

セミナー開催

東京活性化ミニサロン with 城南島連合会 働き方改革のケース・スタディ



総会後の恒例セミナーは今回、財務省の関東財務局東京財務事務所と厚労省の働き方改革推進支援センターの協力を得て、「東京活性化ミニサロン」を開催しました。テーマは「働き方改革のケース・スタディ」。労働者の多様な事情に応じた「職業生活の充実」に対応し、働き方改革を総合的に推進するための改正法が、2019年から順次適用されている中で、企業はどのように対応していかなければいけないのか。特定社会保険労務士の三浦睦子氏を講師に迎え、企業にありがちな問題とその対応策について、さまざまな具体的事例を参考にしながら、経営者に必須な情報を得ることができました。



ございます。

今週はどなたとお目に掛かりました。台風の問題になりました。9月の台風15号では千葉県に大きな被害が出ましたし、先週の19号ではさらに広い地域に甚大な被害があり、大田区内でも浸水箇所が出ました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。まだ復旧作

業に困難が続いている上に、今週末には台風21号の影響で大雨になりそうです。これ以上被害が拡がらないことを心からお祈りいたします。

市場の部分は勾配が非常に急なので、駅を作ることは物理的に無理なのではないかという回答がJR東日本からきています。しかし、ここに新駅を望む声は強いので、臨海部の「まちづくり協議会」などで大田市場の方々をはじめ各方面の方々と相談しながら、署名を集めるなどして引き続き新駅開設に向け運動を進めていきたいと思っております。そして、平成29年12月から行われておりました野鳥橋の落橋工事が今春2月に終わりました。これから新しい平面道路工事が始まります。インフラの整備は城南島に業務拠点を置く私たちにとって、安定した雇用の確保、より良い人材の確保に欠かせません。また、車で通勤されている方のためには、島内の慢性的な駐車場不足も何とかして改善していけるよう、連合会として引き続き取り組んでまいります。

事務所が城南島から離れまして、島内の細かい事情がわかり難くなっている面も多少ございますが、何かあった時には会員企業が速やかに協力していけるような連合会でありたいと思っております。また、今年ラグビーのワールドカップが日本で開催され、日本が初めてベスト8入りして大いに盛り上がりました。来年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。大田区は羽田空港のある日本の玄関口であります。オリンピックを盛り上げていくなかで、大田区も城南島も広く世界に知られていく良いチャンスだと思います。私も微力ながら城南島連合会の皆様と建設的な議論を進め、より良いビジネス環境づくりを目指して努力していきたいと思っております。今後ともご協力のほどよろしくお願いたします。

来賓挨拶 ◎ 大田区長 松原忠義
大田区は産業交流の拠点であり、世界に日本を発信する近未来都市



大田区は日頃から城南島、京浜島、昭和島の3島連絡協議会で交流をさせていただいております。こういう時代ですいろいろな課題がございますが、皆さんと一緒に歩みながら区として出来ることは最善を尽くしてやっていきたいと思っています。そういう中で大田区はこの1、2年で大きく変わります。

羽田空港の跡地第1ゾーンに形成しました「新産業創造・発信拠点」の名称が7月に「羽田イノベーションシティ」に決まりました。先端産業施設、文化施設、国際会議場をもつ近未来都市を作っていくわけですが、3000人規模のイベントが出来るとありますから、産業交流の拠点であると同時に、「日本の流行は羽田から」となるのも夢ではないと思います。また、自動運転技術の開発・実証のための「先端モビリティセンター」はデンソーが大田区の町工場の方々と話し合って進めております。デンソーが来ることによって中小企業の方々の交流も進むと考えております。そして、「先端医療研究センター」は2年遅れますが、東邦医大に入っていたら、最先端の医療を進めてまいります。信用

来賓挨拶 ◎ 大田工業連合会会長 舟久保利明
大田区でモノ作りをしてきた先輩の叡智を引き継いでいくしかない



災害というのはいつ起こるか分かりません。大田工業連合会は桐生市工業連合会と「BCP協定」Business Continuity Plan (Project) を結んでおりますが、その発展形態で桐生市と大田区もBCP協定を結んでいます。この協定は簡単に言いますと、どちらかが自然災害を受けた時には、互いに応援しようというものです。大田区の災害では、これからも太平洋側で大きな地震があるだろうと言われておりますし、今回の台風では多摩川の越水もありました。そういう場合に大田区は桐生市に助けていただくということになっております。

一方、桐生市はどうかと言いますと、浅間山の噴火、渡良瀬川の氾濫などがあるかもしれません。そういうことが起こった場合は大田区が応援をするということになります。BCP協定は災害時の助け合いを含めた企業維持計画です。今までは理屈としてはわかっていてもどこか他人事のように感じていたところがありませんが、近年の自然の脅威を目の当たりにしますと、これからはそうはいかない、大いに自分事としなければいけないと感じております。地球温暖化にとも

金庫、信用組合につきましては、城南信用金庫全支店を含め全国の金庫、組合が羽田で取引ができるようになります。また、この施設とは別の4000平米のうち、2500平米を大田区と中小企業に借りてもらって、企業と大田区の街をつないでいこうという発想で進め、残った1500平米は区内のいろいろな職種の方々の交流の場所とし、国内外の情報交換の場としてまいります。今までの日本にはなかった施設で、ここが本格的に稼働しますとかなりのパンチが効いてくるのではないかと考えております。

また今、ヤマト運輸があるところの後ろにANAの研修センターができます。全日空は46000人の従業員がおりますが、その全社員の研修所になります。さらにその後ろに出来ます「羽田インダストリアルパーク」内には、大田区が3000平米を借りまして、製造業を中心とした工場、研究所などに使ったいただき、これまでに集積した区内の高度なモノ作りとの連携を促進したいと考え、ただ今入居予定者を募集しております。このように羽田周辺は急激に変わってまいります。

ホテルは羽田周辺、蒲田地域にもすごい勢いで増えています。私が区長になりました頃は7000人ぐらいだったホテルも来年までに14000人ぐらいが宿泊できるようになるだろうと言われております。以前、東急ホテルがありましたところも1700室の新しいホテルを建設中ですので、大きく変わってくるでしょう。また、非常に心配いただきました中央防波堤埋立地をめぐっての裁判では、大田区は控訴せず東京地裁の判決を受け入れることにしました。海苔業者と痛感いたします。

本で行われた大田工業連合会の理事会でも話が出たのですが、今は景気が非常によくなりました。さあ、どうしたらいいかとなると、簡単に答えの出ることはありませんが、私が思いますには、大田区でモノ作りをやってきた先輩たちの叡智を引き継いでやっていくしかないのではないのでしょうか。それが私たち企業経営に当たるものの使命ではないかと確信いたします。城南島連合会の皆様にもご協力をいただいて、大田区のモノ作りをこれからもしっかりと継続していかなくてはならないと思っております。これからもどうかよろしくお願いたします。

乾杯音頭 ◎ 商工組合中央金庫 大塚支店京浜島出張所所長 吉田敏行
商工中金は都道府県のすべてに支店を構えておりますので、これまでの地域の自然災害につきましても当事者として経験しております。日本の金融機関の中で恐らくもっとも災害対策に強いのではないかと自負しております。資金面はもちろんです。そんな些細なことでも何かお困りのことがございましたら私ど



をはじめ大田区の皆さんには大変申し訳ないと思っておりますが、大田区には港湾事業が入っております。そうなりますと、羽田空港周辺はまさに海と空と陸が結実することになってまいります。産業戦略では大田区は今年1年をかけて、モノ作りの実態調査をしっかりともう一度やり直して対策を立てます。同時に産業構造がだいぶ変わってきています。極端に言いますと運輸業界は飛び抜けて多くなっています。少子高齢化時代ですから、福祉産業、介護事業所などもどんどん増えています。そういうことを踏まえて構想を立てるところです。このように城南島を含めて空港周辺は大きく変わってきますので、大田区はしっかりと対応し、皆さんと手を携えて頑張ってまいります。



もにご相談ください。今回の台風19号による災害につきましても、10月13日(日曜日)から特別相談窓口を設け、被害に遭われた皆様方を全面的に支援させていただきます。体制を整えております。では、僭越ではありますが乾杯の音頭をとらせていただきます。城南島連合会並びに会員企業の皆様のご発展、ご列席の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、ご唱和願います。乾杯！

来賓挨拶 ◎ 東京都議会議員 もり愛
大田区臨海部の高潮対策、河川整備に全力を上げて取り組む



私は現在、都議会では環境対策委員会に所属しておりますが、まさに台風19号被害の対策に当たっているなかで、大田区では田園調布が浸水いたしました。幸い今回は城南島では浸水被害はございませんでしたが、大田区には多くの工場があり、この地域が浸水した場合は、機械にも甚大な被害を与えることになるわけです。今後もしっかりと皆様のご意見をお聞きしながら、臨海部の高潮対策、河川整備などに取り組みしていきたいと考えております。また現在、東京都は長期計画の策定を行っておりまして、東京オリンピック・パラリンピックの終了後も、事業承継の取り組みを含めまして、発展を持続できる経済を目指しております。大田区の中小企業の皆様や、大田工業連合会の舟久保会長にも理事として参加していただきながら、東京都中小企業・小規模企業条例に基づき、有識者による中小企業のあり方検討会で城南島を含む臨海部、大田区を重点地域として検討しております。製造業の皆様とともにこれからも発展する東京に向けて全力を尽くしたいと考えております。

中締め ◎ 城南島連合会副会長 高須俊行



ご来賓の皆様、本日はご多忙のところご臨席を賜り、まことにありがとうございます。また、会員の皆様には総会から長い時間お付き合いいただきましてご苦労さまでした。本日はスカッと一本締めで中締めをしたいと思います。では、来賓の皆様、連合会の企業、組合の皆様、そしてご家族の幸せをお祈りしまして、お手を拝借、ヨッソ、パン！



ビーチクリーンアップ in 城南島 & バーベキュー大会 2019年10月26日



清掃開始前に挨拶する大久保副会長



●毎年10月に行われている「ビーチクリーンアップ in 城南島」が、城南島海浜公園の「つばさ浜」で10月26日に開催され、城南島連合会加盟関係者143人の方々にご参加頂きました。誠に有難うございます。前日までは、接近する大型台風の影響で中止も考えられましたが、当日は朝より晴天となり、最高のコンディションで清掃活動することが出来ました。浜辺には、関東に猛威をふるった2つの大型台風の影響か、例年以上に木々が打ち上られており、地球温暖化に対する危機感を感じながらも、清掃活動への達成感を味わうことが出来ました。

清掃活動後は、恒例のバーベキュー大会も執り行われ、各会社でよい懇親会につながったのではと思います。来年以降も我々の城南島海浜公園への美化維持活動への協力を願いますとともに、ご参加頂きました皆様に御礼申し上げます。

副会長・交流委員会委員長 大久保茂忠

春季&秋季懇親ゴルフコンペ 2019年4月10日、11月18日



写真上：春季コンペ参加者全員。写真下は中澤会長から記念品を受け取る春季優勝の猪狩浩さん（左）、秋季優勝の木舟正剛さん（右）。

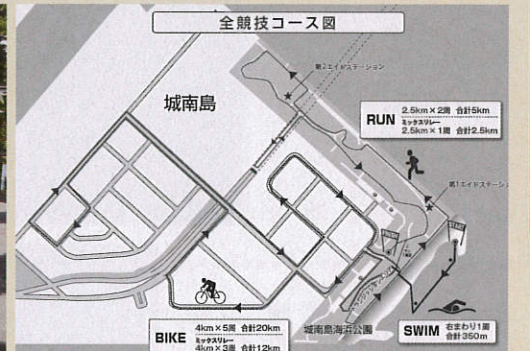
●春の懇親コンペはなるべく近場で実施したいという希望があり、今年は「横浜カントリークラブ」で4月10日の開催となりました。ところが蓋を開けてみたら、当日は大雨で気温は7℃という悪天候。私が会長職について初めてのコンペで、参加メンバーは決行か中止かを迫られることになり、これは先が思いやられるなと思いましたが、結局、各自の自己判断に任せることになり、14名でのコンペ開催となりました。最悪のコンディションの中でしたが、事故もなくコンペは無事に終了できました。秋こそはベストコンディションで、と期待を寄せました。

その秋の懇親コンペは千葉県印西市の「総武カントリー総武コース」で、11月13日の開催となりました。春とは違って変わって好天気。秋めいて少し肌寒い日でしたが風もなく、楽しい懇親コンペとなりました。

私のスコアはたいしたことはありませんが、好天に恵まれたので、会長としてこの先に少し明るい兆しを感じられました！

優勝者は春が猪狩 浩（大洋機械株式会社）さん、秋は木舟正剛（木舟製函株式会社）さんで、久しぶりに出場の方が栄冠に輝くという驚きの結果でした。まだ、参加されていない方、久々に参加を希望される方、チャンスは大いにあります！次回の春は2020年3月、秋は9月の開催を予定しておりますので、奮ってご参加し懇親を深めてくださいますよう、よろしくお願い致します。申込みなど詳しいことは城南島連合会事務局へお問い合わせください。城南島連合会会長 中澤勇一郎

第9回 東京江戸前トライアスロン 2019年9月22日（日）



●「第9回東京・江戸前トライアスロン」(一般社団法人東京都トライアスロン連合主催、城南島連合会ほか協力)が9月22日(日)、城南島海浜公園とその周辺で開催されました。競技はスイム350m、バイク20km5周、ラン5km2周。ミックスリレーはスイム350m、バイク12km3周、ラン2.5km。競技はスイムでスタート→バイク(自転車)→ランでゴール(コース図参照)。晴天に恵まれ、幅広い年代層のトライアスリートたちが熱い闘いを繰り広げ、城南島で働く方も数多く参加されました。来年も積極的にエントリーしてください！

AED (Automated External Defibrillator) 講習会 2019年7月18日

●AED(自動体外式除動器)は、心臓が何らかの原因で血液を流すポンプの機能を失ったときに、電極のついたパッドを胸にはって自動的に心臓の状態を判断し、もし心室細動を起こしていれば、強い電流を一瞬流して心臓にショックを与え、心臓を正常に戻す機能を持った機械です。AEDはその存在と有効性は知っているものの、経験がなければどう使ったらいいかわからないという人が多いのが現実です。そこで、いざという時に慌てずに済むように防災委員会(中島義博委員長)は7月18日、城南島工業協同組合2階で、AEDの使い方について講習会を行いました。講師はAEDをはじめ様々な医療用電子機器の総合メーカー「日本光電株式会社」の三宅 誠(みやけ・ひろき)さん。中島委員長はじめ20名が参加しました。

